

1 単元名 六歌仙クイズを作成して発表しよう

2 本単元の目標

- (1) 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。〔知識及び技能〕(1) ア
- (2) 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕A (1) オ
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。〔学びに向かう力、人間性等〕

3 言語活動の設定

六歌仙や和歌の表現技法、文法事項について関連する内容を調べてクイズを作成し、発表する。

(関連：〔思考力、判断力、表現力等〕A (2) ア)

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1) ア)	「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。(A (1) オ)	進んで表現技法、文法事項等について調べて、学習の見通しをもってクイズを考えて発表し、自らの考えを深めようとしている。

5 単元の指導計画 (5 時間扱い)

○は指導に生かす評価 ◎は記録に残す評価

次	時	学習内容・活動	知	思	態	評価方法・留意点等
1	1	単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文を通読後に、六歌仙について便覧で確認する。グループに分かれる。各グループが担当する六歌仙を決定する。	○			六歌仙について資料をもとに確認している。 【行動の観察】
2	2	現代語訳をグループで作成する。	◎	○		便覧やICT機器を活用し、正確な現代語訳や品詞分解をしている。 【表記の確認】
	3	六歌仙や和歌の表現技法、文法事項について関連する内容を調べ、各自クイズを考える。 考えたクイズの中で、六歌仙や本文について最も理解が深まると思われる内容のものを選ぶ。		◎		六歌仙や本文について最も理解が深まると思われるクイズはどれかを話し合い、選んでいる。 【行動の観察・記述の確認】
3	4	原稿を作成し、現代語訳、文法事項、クイズを電子黒板や書画カメラ等を活用して発表する。			○	六歌仙や本文について理解を深めるための正確な現代語訳、文法事項、クイズを発表している。 【行動の観察】
4	5	単元全体を通じた学習の振り返りを行い、自らの考えを深める。			◎	六歌仙や和歌の表現技法、文法事項についての自らの考えを深めようとしている。 【記述の確認】